

結 果 報 告

大会名	平成28年度第68回日本ハンドボール選手権大会				
競技日	12月22日(木)	試合番号	こ	回戦	2
種別	男子 女子	会場	伊勢八王子 ・駒沢体育館		
Aチーム			Bチーム		
桐蔭横浜大学			三重バイオレットアイリス		
得点合計	小計		小計	得点合計	
16	8	前半	10	24	
	8	後半	14		
		第1延長(前半)			
		第1延長(後半)			
		第2延長(前半)			
		第2延長(後半)			
		7mTC			

【 戦 評 】

記載者氏名

鈴木 慎二

三重バイオレットアイリスに桐蔭横浜大学が挑戦する一戦。前半開始20秒に三重No9角南のポスト、続け様に1分にNo15多田が続いた時は三重の一方的な展開を予感させた。しかし、桐蔭横浜大も2分と5分にNo2林のミドルシュートで同点に追いつく。10分に三重No6近藤がサイドシュートで3-2として均衡を破る。しかし桐蔭横浜大も前半12分に三重No21池原退場の7MTをNo11湯山が決め3-3の同点。桐蔭横浜大No14西口のサイドからの連続得点、三重No23森本のミドルシュートの応酬で互角の展開。三重は18分にチームタイムアウトを取り引き離しにかかり、池原の速攻、森本のカットイン、No10河嶋のロングで22分に9-6とする。しかし桐蔭横浜大も24分角南の退場を生かし、No17亀井の連続ポストシュートで26分に9-8と追いすがり、前半を10-8の三重2点差リードで終える。後半も三重が5点差まで差がつけられず、しぶとく桐蔭横浜大が追いすがる展開。12分に三重No19万谷、No6近藤が立て続けに退場になり、桐蔭横浜大が追いつく最大のチャンスが訪れたが、三重はGK岩見の7MTシャットアウト、GKを引き上げてのCP5名攻撃などで必死に凌ぎ、逆に14分に17-12と5点差をつけ最大のピンチで自分達に流れを持って来る事に成功。その後、前半からのパスコースを読んだデフェンスからの速攻も功を奏し、三重が諦めない桐蔭横浜大を24-16の8点差で振切った。